



ポストコロナの提言  
——新しい組織——

---

村山 貴志 佐野 真莉奈

新しい組織

---

コロナ対策



より良い組織

# オンライン組織

---

# オンライン組織

---

その成立と存続において、空間的な制約がなく、時間的な制約が大幅に緩和された組織

# 公式組織の成立要件

---

Barnard (1938) “The Functions of the executive”

共通目的

貢献意欲

コミュニ  
ケーション

# 公式組織の成立要件

---

Barnard (1938) “The Functions of the executive”

共通目的

貢献意欲

コミュニ  
ケーション

# オンライン組織

---

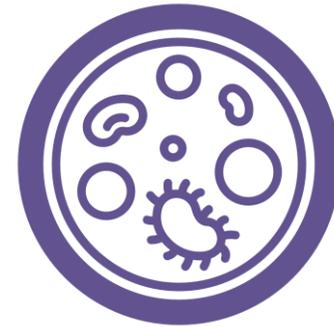
その成立と存続において、空間的な制約がなく、時間的な制約が大幅に緩和された組織

# 「オンライン組織」の実現

---



PULL要因：情報システムの発展



PUSH要因：新型コロナウイルス

# 初年度と二年目以降の違い

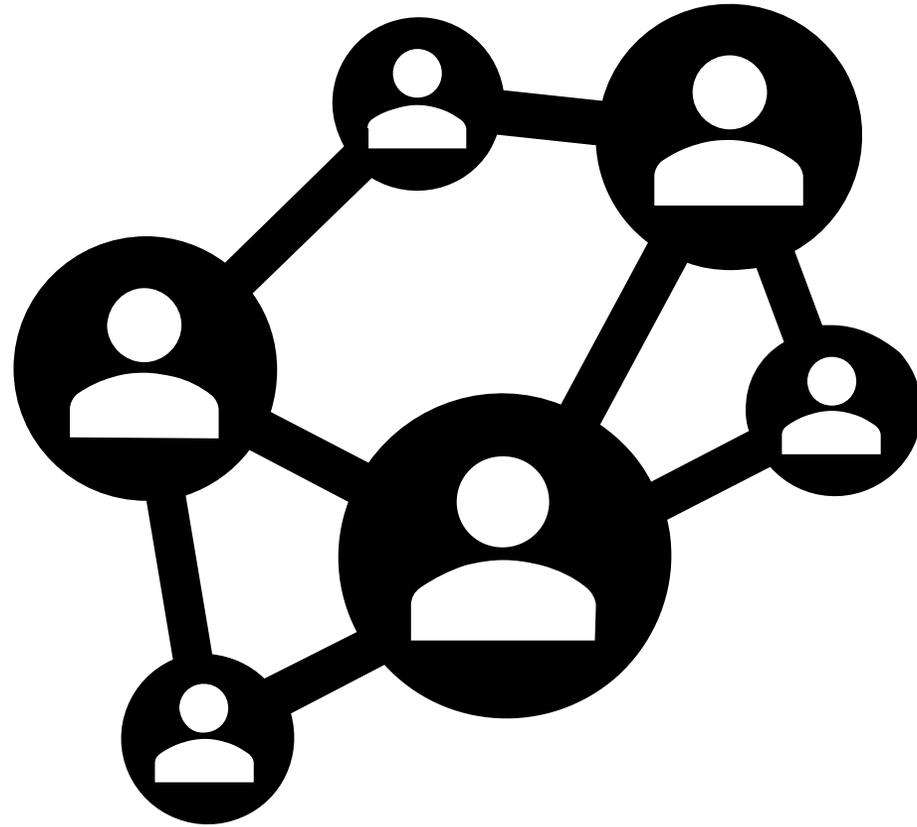
---

構成員について

- 初年度 : オンライン化の負担大
- 二年目以降 : オンライン化の負担小

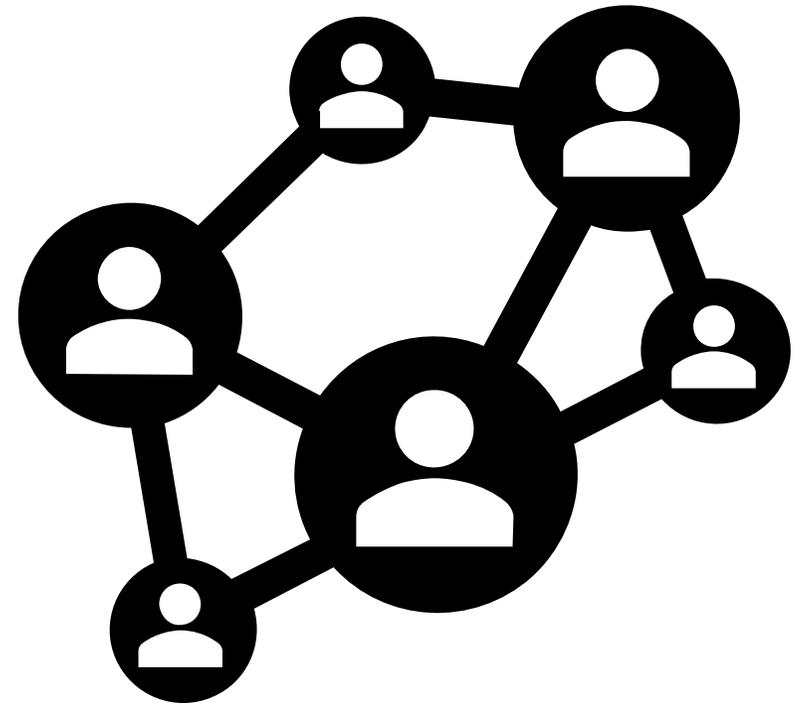
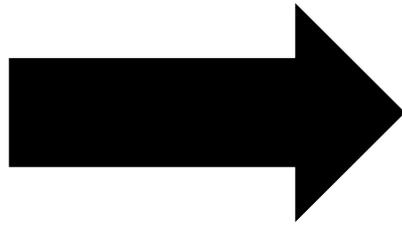
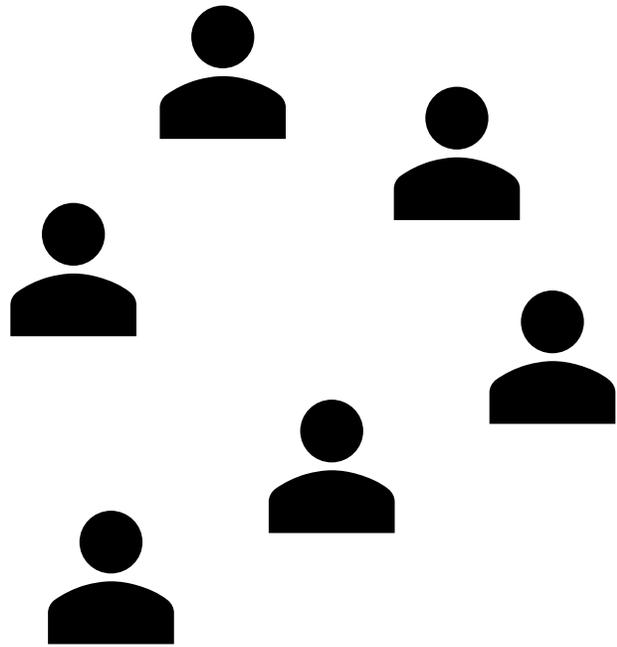
# 「組織」 = ネットワーク

---



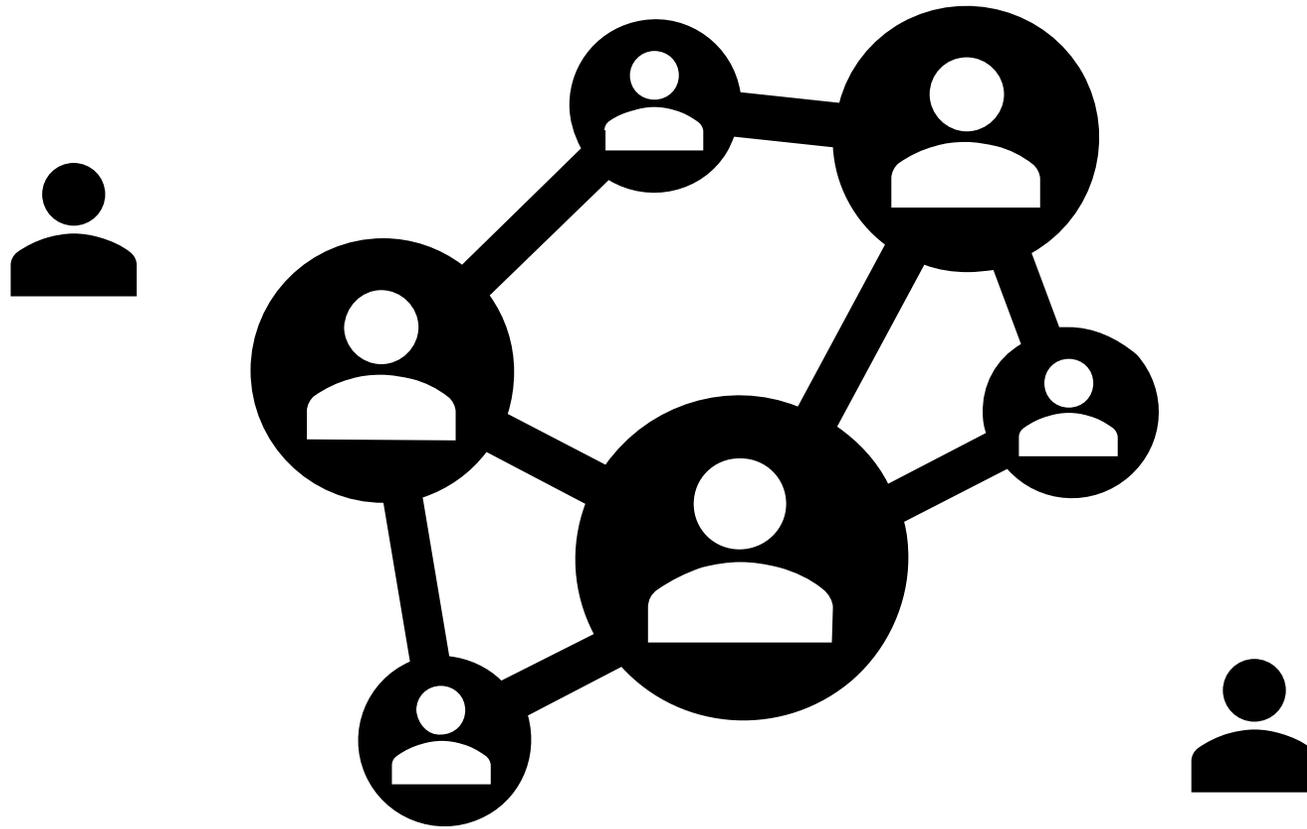
# 初年度

---



# 二年目以降

---



# 初年度と二年目以降の違い

---

- 初年度：組織への参加＝「ネットワーク」を作る
  - オフラインの重要性
- 二年目以降：「ネットワークの維持」
  - 比較的オンライン化が容易

# 組織を維持する情報システム

---



## リアルタイムコミュニケーション

多人数音声通話システム  
映像通話・VR通話システム



## テキストコミュニケーション

オンラインチャットシステム  
ドキュメント管理システム

# 柔軟なオフライン活動への提案

---

- 背景

オフライン活動の必要性は残る

通勤時の混雑・満員電車

時差出勤：企業単位の取り組み

- 提案

個人の特性に合わせた時差出勤：クロノタイプの活用

# クロノタイプとは

---

- 一般的に「朝型」「夜型」と言われる  
「朝型」：朝早く起床、夜は早めに寝る  
「夜型」：朝遅く起床、夜遅くまで活動



朝型



夜型



# クロノタイプとは

---

- クロノタイプの推測

体温、メラトニン、、、

**質問紙**によって推測が可能

: MEQ (Horne & Östberg, 1976) など



全19問。合計得点によってクロノタイプを推測。得点が高いほど朝型の傾向。

Q1 あなたの体調が最高と思われる生活リズムだけを考えて下さい。  
そのうえで、1日のスケジュールを本当に思い通りに組むことができれば、  
あなたは何時に起きますか。

[http://www.sleepmed.jp/q/meq/meq\\_form.php](http://www.sleepmed.jp/q/meq/meq_form.php)

# クロナタイプを活用した感染症対策

- 目的

3密「密集・密接・密閉」を避ける

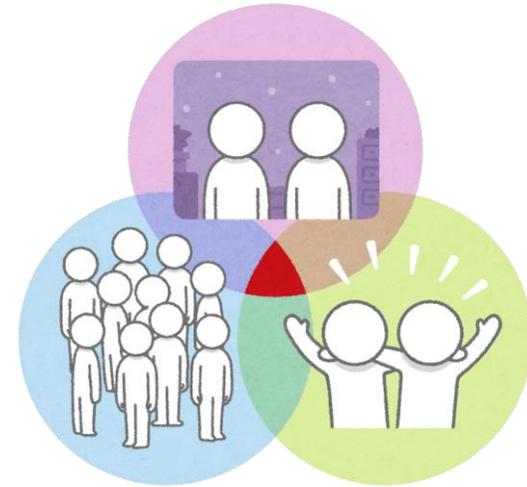
- 手段

個人のクロナタイプを尊重した勤務時間

朝型：出勤早、退勤早

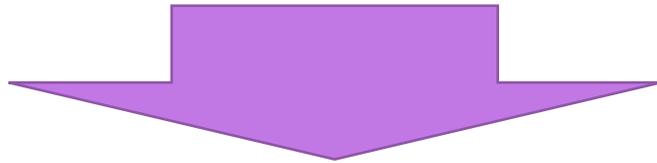
夜型：出勤遅、退勤遅

朝型～夜型グラデーシヨンの対応



# クロナタイプを活用した感染症対策

- 期待される結果  
出勤・退勤時間の混雑緩和  
→ 三密の防止



- post コロナ時代の組織  
"social jetlag" (Wittmann et al., 2006) の緩和

# クロノタイプを活用した感染症対策

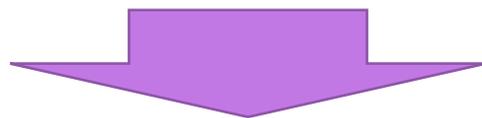
---

- "social jetlag" (Wittmann et al., 2006) とは

社会的な時間と生物学的な時間との不一致

[Ex] 夜型だけど、朝早く起きて出勤しなければいけない

→心身への悪影響が指摘されている



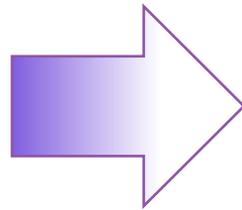
働く人のウェルビーイング

# 組織構造の変化

---

- 情報システムの活用による組織の変化

画一的  
一律出社<sup>or</sup>在宅  
一律時差出勤



個人を重視  
柔軟な組織へ

ご清聴  
ありがとうございました

---

村山 貴志 佐野 真莉奈